

## ○ 取組紹介 4 : 沖縄県立那覇国際高等学校

### 平成25年度の英語の履修単位数

1年生 <普通科>「コミュニケーション英語 I (3 単位)」「英語表現 I (2 単位)」<国際科>「総合英語 (5 単位)」「異文化理解 (2 単位)」、2年生 <普通科>「英語 II (5 単位)」<国際科>「英語理解 (3 単位)」「英語表現 (1 単位)」「コンピュータ LL (1 単位)」「異文化理解 (2 単位)」、3年生 <普通科>「リーディング (5 単位)」「ライティング (選択・2 単位)」<国際科>「英語理解 (3 単位)」「英語表現 (3 単位)」「コンピュータ LL (1 単位)」「時事英語 (2 単位)」

### 1. リーディング

目的に応じた適切な読み方（必要な情報を取得する、概要を把握する、情報の詳細を理解するなど）を意識して英文を読むように指導した。

また、教科書とは別に速読用教材等を活用し、できるだけ多くの英文に触れるようにした。

さらに、長文読解力を向上させるため、1年時から夏期・冬期休業課題として、様々なジャンルの英文を読む機会を与えた。

### 2. リスニング

教科書やリスニング教材を活用し、英文を聞くだけではなく、オーバーラッピングやシャドーイングなど様々な方法で音読活動を強化したことが、リスニング力の強化にもつながった。

また、ペア・ワークやグループ・ワークを通して、英語での情報交換を日常的に取り入れた結果、集中して相手の英語を聞き取る姿勢が身に付いていった。

3年時は、CDの再生スピードを上げるなどして、早い速度の英文を聞き取ることができるよう、リスニング活動を行った。始めは戸惑っていた生徒も続けることで慣れていき、ある程度長い文章でも集中して聞くことができるようになった。

### 3. ライティング

1年時から、スピーチ原稿を継続的に書いてきた結果、英語の表現力が向上した。

スピーチ原稿を書く前に、「スピーチの書き方」をまとめた指示書と課題提出用紙を配布し、簡単に説明した。テーマは自由だが、自分の興味のあることや、自分のメッセージを伝えたいものでなければならないこと、文章の構成は導入 (Introduction) 1~2割、本文の展開 (Body) 6~8割、結論 (Conclusion) 1割を意識することに注意を促した。原稿は400語程度の文章 (目安はA4の課題提出用紙1枚半程度) とし、1週間~10日間ほどで書き上げるように指示した。

生徒が提出した原稿に、各教員が簡単な修正を入れて返却した。生徒は訂正後、授業でのスピーチ発表及び原稿再提出を行った。また、学級代表を選考後、学年代表選考会、校内英語スピーチコンテストとつなげている。校内選考優勝者は県スピーチコンテストへ出場することになっている。

また、教科書の内容理解を確認するための活動として、生徒自身が英語で質問を作り、ペアでお互いが作成した英文を確認した。

さらに、教科書の各セクションについて自分の意見を英語で書くことを習慣化し、その内容をペアで交換した。

#### 4.スピーキング

授業の中で生徒がスモール・トークを行い、身近な出来事を伝え合うことができるようにした。単語や短い英文でやりとりする場面も見られたが、英語で話をしたいという意欲の向上につながった。スモール・トークの内容は、授業の内容に関連したもので話し合いやすいもの、1分程度でやり取りできるものとし、理由等の説明をできるだけ多く付け加えるよう促した。

例：Warm up Small Talk (生徒用ハンドアウトより抜粋)

1. What did you find most difficult to understand in foreign countries you have ever visited?

2. If you have never been abroad, choose one country you'd like to visit, and think about the possible problems you may face there.

2年時からスピーキングテストを導入した。テストの構成は、パッセージの黙読(20秒)及び音読、パッセージに関する質問2つ、個人的な意見に関する質問1つとした。評価は、音読・英問英答・Attitudeの3観点から行った。

#### 5. 論理的思考力

教科書の内容理解にとどまらず、書かれていることに対する自分の意見や感じたことを文章にしたり、ペア、グループ、クラス全体での発表を通して情報交換を行ったりした。また、自分で考え、わかったことを共有し合えるようなワークシート作りを心掛けた。

例：Writing (生徒用ハンドアウトより抜粋)

Write your opinion about the question below with 50 words and more.

“Suppose you worked for the Japanese government, what would you do to solve the problem of poverty and homelessness?”

※ 文章を書いた後、グループ内での発表。グループ内でよい意見をクラス全体に発表。



本校では、これまでの和訳中心の授業を行ってきたが、本事業を契機としてほぼ全てを英語で行う形に変えた。そのスタイルの授業を2年間受けてきた生徒達なので、英語を聞いたり英語で発信したりすることに慣れていることも、総合的な英語力の向上につながっているのではないかと考える。